

「羅針盤」vol.26 校長 白岩博明

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月2日、14日に行われた中学校、高校の卒業式と同様、4月8日（水）、保護者来校の制限のお願いや時間短縮措置を行い、中高の入学式を実施いたしました。中学生58名、高校生201名が新たな“協創”の仲間となりました。



入学式 式辞

二十四節気、清明の初候「玄鳥至る（つばめいたる）」のとき、海を渡ってつばめが南からやってくる頃となりました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入学式の挙行が心配されました。しかし、みなさまのご協力を得て予定通り挙行できましたことは、この上ない喜びでございます。ただいま中学校58名、高等学校201名の入学を許可いたしました。新入生のみなさん、入学おめでとうございます。

保護者のみなさま、高いところからではございますが、ご子女のご入学、おめでとうございます。いよいよ始まる新しい生活に向けて、我が子へ心からのエールを送っておられることと存じます。また、ご来賓のみなさま、本日はご多用の中をご臨席いただきまして誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、新入生のみなさんは小学校から中学校へ、中学校から高等学校へとそれぞれ学びのステージを一段進めました。ステージを進め、「学び」を深化させるのは、どういうことなのでしょう。私たちは夢や希望を持ち、それぞれに役割を担ってこの社会で生きています。その中でさまざまな場面において、すぐに答えが見つからなかったり、複数の答えに出会ったりする場合があります。また、他者と意見が対立し、見通しが利かなくなることもあります。それでも答えを選んで歩まなくてはならないのが社会の中で生きるという現実です。迷ったまま、見通しが利かないままではなく、知恵を絞り、工夫を凝らして相応しい方向を定めなくてはなりません。そうです、悔いのない生き方を得るために答えを選択し、その選択する力を備えるために「学ぶ」のです。さらに、そのプロセスで同じ目的を持った者と協働し、相応しい答えや新たな価値を見出していくという繋がりが生まれます。それが本校の校名である協創なのです。

本校は、昨年4月、広島修道大学ひろしま協創中学校・高等学校へと校名を改称し、新たな教育、学校づくりに挑んでいます。時代の潮流に抗うことなく、地球的な視野で考え、地域社会と協創する人、すなわち、グローバル・イノベーション・リーダーを育む教育を展開しています。さらに、その目標を達成するために、探究型学力・協創する力・社会参画する力・自己実現する力の“4つの力”を身につけるプログラムをはじめ、広島修道大学とのコラボレーションによるプログラムを通じて、みなさんの「学ぶ」意欲を高めるチャンスを準備しています。そして、そのチャンスを自分のものにし、協創生としての“協創マインド”を身につけ、着実に成長することを我々は願っています。

終わりにあたり、保護者のみなさま、ご子女の成長は家庭教育と学校教育の両輪があってこそです。ご子女の成長を支えるため、ともに手を携えることができれば幸いです。我々教職員は、「凡事徹底、進取果敢。」を行動指針として、ご子女の成長のために万全を尽くすことをお約束します。

以上を誓い、式辞といたします。

2020年4月8日

保護者のみなさまへ（入学式後にお伝えしたこと。）

入学式後、新入生の保護者のみなさまに以下の3点についてお願いいたしました。

「1. このような社会情勢の中、予定通りの活動、行事ができるかどうか不透明です。さまざまな変更に対応していただきたいと思います。変更などがあれば、その都度ご連絡いたします。2. 私学として生徒募集は必須の業務です。その際、授業中や普段の生活の様子を撮影したご子女の写真を学校案内等で掲載することがあります。もし、掲載を遠慮したいということがあれば後日担任を通じてお申し出ください。3. 本日各担任から配布する資料の中に、ご寄附の案内が同封されています。これは来年3月完成予定の中学校棟新校舎建設へのご寄附です。あくまでも任意のものです。ご賛同いただける方は何卒よろしく願いいたします。」そして、「いよいよスタートです。みなさまのご協力を得ながら素晴らしい学校をつくっていきます。よろしく願いいたします」と結び、きゅっと身が引き締まった瞬間でした。